

取組事例 12 災害の教訓を踏まえた取組

1 これまでの災害で発生した避難所等における性暴力防止のため、被災女性を支援 (ねがみみらいクリニック)

- ・ 元同僚の医師が知り合いの医師や団体職員を中心に、災害対応や女性支援に詳しい専門家を集めた。
- ・ その中から女性支援に特化した LINE グループを開設。
- ・ これまでの災害時に発生した避難所等における性暴力・性犯罪に関する問題や、その対応策などについて情報交換を行った。
- ・ こうした情報を受けて、防犯ブザーと笛がセットになったものと性暴力防止の啓発チラシ(東日本大震災時に岩手県立大学看護学部の福島裕子先生が作成したもの)をもとに、デリケートゾーンのケアなど女性特有の問題についても記載)を避難所内で被災者ひとり一人に手渡した
- ・ 万が一、性暴力の被害にあった場合の早期支援につなげるため、「能登半島地震 性暴力女性被害者支援プロジェクトチーム」を立ち上げ、かねてから電話やメールでの相談対応を行っていた「よりそいホットライン」と協力し、オンライン診療を実施して緊急避妊用ピルを提供するシステムを構築し継続的に活動している。



2 災害対応の経験を踏まえた研修会を実施(石川県防災士会)

- ・ 石川県防災士会が珠洲市で避難所運営を行った経験を踏まえて、防災士が避難所運営のコーディネーターとして TKB(トイレ・キッチン・バス)の確保を実践できるようスキルアップ研修を行った。

